

ひょうご

職親会だより

2021.12 第47号

※兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会(職親会)は、精神障害者の就労を支援する事業主の会です。

【目次】

- 《報告①》 令和3年度兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会(職親会)総会 …… P 1
 (書面決議)
 ○令和2年度事業・決算報告 …… P 1
 ○令和3年度事業・予算計画 …… P 3
 ○役員改選 …… P 4
- 《報告②》 第69回兵庫県社会福祉大会において、野村浩之会長と宮崎宏興監事が
 精神障害者福祉事業功労者として県知事から表彰されました …… P 4

報告

1

令和3年度兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会(職親会)総会

令和3年度の総会は、6月15日に通常開催を準備していましたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言の延長を受けて残念ながら断念しました。昨年度に引き続き今年度も6月22日を期限に書面表決を行い、令和2年度の事業・決算報告、令和3年度の事業・予算計画について承認を受けました。

●令和2年度事業報告

事業名	年月日	場所	内容
(1) 総会、講演会、地域研修会の開催	R2.6	書面開催	○役員会 コロナ禍のため電話・メール・FAXで協議(計7回) ・令和元年度実績報告および決算報告 ・令和2年度事業計画(案)および予算(案) 総会の開催について
	R2.7	書面開催	○令和2年度兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会総会 コロナ禍のため書面開催 ・令和元年度実績報告および決算報告 ・令和2年度事業計画(案)および予算(案) 会員9団体から回答を得て可決

	R2.9.5	兵庫県こころのケアセンター	<p>○第1回研修会</p> <p>参加者：社適事業所、市町、健康福祉事務所、医療機関、障害者就業・生活支援センター、就労支援事業所等、計50名</p> <p>内 容：就労支援システムSPISセミナー（入門編）</p> <p>講義</p> <p>「就労支援システムSPISとはどんなシステムか」</p> <p>講師 SPIS研究所所長 橋倉 正氏</p> <p>事例報告</p> <p>「SPISを活用した就労定着支援への取り組み」</p> <p>登壇者</p> <p>関西青少年サナトリウム 馬場麻里子氏</p> <p>就移事業所Small Steps 宮本 紗綾氏</p> <p>当事者 けんたろう氏</p> <p>外部支援員(JSN) 橋本 泰伸氏</p> <p>助言者 SPIS研究所所長 橋倉 正氏</p> <p>進行者 全国精神保健職親会 三原 卓司氏</p>
	R2.10.10	兵庫県こころのケアセンター	<p>○第2回地域研修会</p> <p>参加者：社適事業所、障害者就業・生活支援センター、就労支援事業所等、計12名</p> <p>内 容：就労支援システムSPISセミナー（基礎編）</p> <p>イントロダクション</p> <p>「なぜSPISは就労定着に役立つのか」</p> <p>講師 SPIS研究所所長 橋倉 正氏</p> <p>session1 SPIS操作実習</p> <p>session2 SPISを通じて当事者をどのように理解するか</p> <p>session3 SPISのなかで当事者とどのように関係をつくるか</p> <p>講師 SPIS研究所所長 橋倉 正氏</p> <p>全国精神保健職親会 三原 卓司氏</p>
(2) 機関紙「ひょうご職親会だより」の発行	R2.11 R3.3		<p>ひょうご職親会だより 第45号 2,000部</p> <p>職親会会員・賛助会員、健康福祉事務所、ハローワーク、社会福祉協議会等約530箇所に配布</p> <p>ひょうご職親会だより 第46号 2,000部</p> <p>職親会会員・賛助会員、健康福祉事務所、ハローワーク、社会福祉協議会等約580箇所に配布</p>
(3) (1)及び(2)のため、全国研究会などへの役員・会員の派遣	R2.7.7 R3.2.2	中央労働センター	<p>兵庫県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議</p> <p>第1回：事務局出席</p> <p>第2回：リモート会議・事務局出席</p> <p>神戸・三田地域障害者雇用連絡会議</p> <p>・例年1～2回開催されるがいずれもコロナ禍により中止</p>

令和2年度 収支決算書

(収入の部)

(単位：円)

区分	項目	決算額	摘要
事業収入		583,000	
	会費収入	15,000	5口
	賛助会費収入(団体)	48,000	16口
	賛助会費収入(個人)	20,000	16口(内1名5,000円)
	委託費	500,000	兵庫県500,000円
事業外収入		3	
	雑収入	3	預金利息等
繰越金	前年度繰越金	332,474	前年度から
計	(A)	915,477	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項目	決算額	摘要
事業費		387,140	
	普及啓発費	124,080	たより発行2,000部(たより第45号)
		89,980	たより発行2,000部(たより第46号)
	研修会費	173,080	講師謝金、旅費
運営費		204,281	
	通信運搬費	172,018	郵送費(たより、研修会案内)等、弔電、切手
	事務費	30,140	ラベルシール、角2クラフト封筒
	需用費	2,123	封筒印刷等
分担金	分担金	20,152	全国精神障害者就労支援事業所連合会団体会費
計	(B)	611,573	
繰越金	次年度繰越金	303,904	次年度に繰越(A)-(B)
計		915,477	

令和3年度 事業計画

- 1 定期総会及び講演会の開催
- 2 地域研修会の開催
- 3 『ひょうご職親会だより』の発行(年2回)
- 4 会員の拡充
- 5 NPO法人全国精神保健職親会への参加
- 6 関係機関との連携・協力
- 7 役員会の開催
- 8 役員改選

当会の活動費は、会費・賛助会費、県委託費等によって賄われています。令和2年度は収入915,477円に対し支出は611,573円でした。主な支出は講演会・研修会の開催、機関誌「職親会だより」の発行などでした。令和3年度は、事業収入を534,000円、事業外収入を3円と見積もり、それに令和2年度繰越金303,904円を加え、837,907円の予算となっています。

役員改選について

2013年から当会理事として、2017年からは副会長としてご尽力頂いた社会福祉法人阪神共同福祉会の中村大蔵さんが退任されることになりました。8年間、職親会の運営を支えていただきありがとうございました。引き続き役員を引き受けてくださったみなさん、今後ともよろしくお願いいたします。

役職	氏名	地区	事業所名
会長	野村 浩之	姫路市	有限会社サポートセンターれいめい
副会長	石井 建三	神戸市	イシイメディカルサービス株式会社
副会長	西村 厚一	小野市	西村牧場
監事	宮崎 宏興	たつの市	特定非営利活動法人いねいぶる
監事	川上 真一	姫路市	一般社団法人わーくわくねっと



第69回兵庫県社会福祉大会において、野村浩之会長と宮崎宏興監事が精神障害者福祉事業功労者として県知事から表彰されました



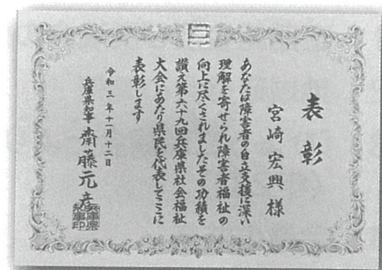
野村浩之会長は、H16年に「相談支援事業所 れいめい」を設立されました。ひとりひとりの特性を理解して、その人らしさを生かしながら、誰もが働く喜びを感じられるように、と精力的に就労支援活動を続けてこられました。当事者の希望を尊重しつつ働く場を切り開き、職場への定着も引き続き支援しておられます。H21年から職親会理事を、H23年から同副会長、H25年から現在に至るまで会長として、職親会を牽引して来られました。

宮崎宏興監事はH16年に非営利活動法人いねいぶるの理事長に就任され、【病気や障がいの有無を問わず「働き」「住み」「苦勞し」「出会い」「回復(成長)する」希望や尊厳をもってできるようになる(enable: いねいぶる)ことを目指して】活動を展開してこられました。さらに、市民団体T-SIP (tatsuno-social inclusion project: たつの市が誰もが誰かを包み込む社会になるプロジェクト)の代表としてユニバーサル社会の熟成を目指すプロジェクトの企画やイベントの運営を積み重ねてこられました。H20年からは職親会の理事、H25年からは監事として職親会を支えて下さっています。

野村浩之会長は、H16年に「相談支援事業所 れいめい」を設立されました。ひとりひとりの特性を理解して、その人らしさを生かしながら、誰もが働く喜びを感じられるように、と精力的に就労支援活動を続けてこられました。当事者の希望を尊重しつつ働く場を切り開き、職場への定着も引き続き支援しておられます。H21年から職親会理事を、H23年から同副会長、H25年から現在に至るまで会長として、職親会を牽引して来られました。



【齋藤知事から表彰を受ける野村会長】



【宮崎監事が受け取った表彰状】

☆兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会(職親会)会員及び賛助会員 募集中☆
【年会費】 会員 3,000円 賛助会員(団体) 3,000円・賛助会員(個人) 1,000円
【事務局】 兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会(職親会)
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2(兵庫県精神保健福祉センター内)
 Tel 078-252-4980 / Fax 078-252-4981